出版

「学習まんが」や「オンライン」とも連動

（1面から続き）

KADOKAWAが5月28日に創刊した学習図鑑シリーズ『角川の集める図鑑GET！』――。同時刊行した3巻の各巻監修者は、『恐竜』が小林快次氏（北海道大学総合博物館教授）、『昆虫』は、生息地域別に『昆虫』することで「他社とは掲載種がまったく異なり、日本の学習図鑑には載っていない昆虫ばかり」が載っている。大きいもの、色鮮やかなもの、世界に100万種以上いる昆虫の多様性が伝わる内容。掲載する昆虫の写真のアングルやサイズにもこだわっている。

学習図鑑シリーズ『角川の集める図鑑GET！』KADOKAWA

『恐竜』『動物』『昆虫』を刊行

『恐竜』は、時代別&生息地域別に分類され、「いつ、どこにいたのかを徹底調査」した。同時期にいた恐竜を1枚のイラストで再現するなど、見せ方にもこだわる。今年4月27日に新種発表された「ヤマトサウルス・イザナギイ」の最新情報も、いち早く掲載している。

『動物』は生息地域別で、森の中や寒い地域といった「生息環境」がイメージしやすいように、動物の写真は背景付きが多い。また、監修者の小管氏の意向もあり、亜種、進化、絶滅の情報をていねいに表記した。「人類がどう環境を破壊し、それによって動物がなぜ絶滅してしまったのかを考えてもらう」のも狙いのひとつだ。

『昆虫』は、生息地域別に加え、「MY図鑑」をどんどん進化できる。受け身のDVDなどと違って、「ゲーム要素を盛り込むことで、子どもたち自身が主体的に考え、発見することを促す」という。今後、「書店にいけば新しいラインナップがそろう」ことを目指すという。

「生息地域別」に分類されている（『動物』）

「生息地域別」で世界を学ぶ

「どっちが強い!?」シリーズと連携

また、各巻とも累計220万部を超える人気学習まんが「どっちが強い!?」シリーズと連携。キャラクターによって子どもたちが図鑑のところどころに登場したり、ストーリー仕立てになっていたりするなど、リアルな場所との連携も考えられる」と、新たな展開も視野に入れる。

今回の図鑑シリーズ制作にあたり、小荒井編集長は「私たちは子どもたちに〝もの知識の発見があるような作りを意識している。新学習指導要領に盛り込まれているような「探究学習」にも向いている。

「GET!+」で集めて楽しむ

さらに、紙の図鑑によくあるDVD付録に代わって展開するのが、無料のオンライン図鑑「GET!+（プラス）」だ。紙面などに設置したARマーカーを読み込めば、カードが追加され、「MY図鑑」をどんどん進化できる。受け身のDVDなどと違って、「ゲーム要素を盛り込むことで、子どもたち自身が主体的に考え、発見することを促す」という。今後、「書店にいけば新しいラインナップがそろう」ことを目指すという。

「GET!+（プラス）」のトップページ

紙の図鑑には記憶定着の効果も

紙の図鑑には一覧性や、いい」と紙、デジタルでは見られない光景かもしれない」と紙、デジタルともに目によって使い分けることが重要だと考えている。

今後の「GET!+」は、21年冬に『危険生物』を、22年春に『人体』を、22年夏に『星・星座』と『魚』の2冊それぞれ刊行する予定だ。

□A4変形判／『恐竜』256㌻、『動物』256㌻、『昆虫』272㌻／対象読者3歳から（総ルビ）／定価2200円（税込）／公式サイト（https://zukanget.com）

ページをめくる楽しみといった魅力もある。小荒井編集長は「目と脳を使う以外にも、（本の）重さや手触りなど触覚の部分も一緒に動かすことで、記憶も定着しやすくなる」と、そのメリットを語る。

また、「紙の本や図鑑の良いのは、置いておくだけで、いつでも手に取ることできる点。例えば、子どものために買っても、その時は読まなかったりする。でも、1年後には読んでいたりする。それも、何度か経験して慣れた客なら自分で作業できるようになるため、有人レジに比べると効率は上がるという。

しかし、店長が評価しているのは、むしろ接客のあり方が変わったことだという。

レジカウンター越しに作業している店員に声をかけるのは気が引けるが、横に立って目が合っていれば声をかけやすい。むしろセルフの方が店員と客との会話が発生しやすいのだ。

レジでの仕事が単なる処理ではなくなり、お客をサポートするという本来の接客姿勢になるのかもしれない。これは新しい発見だった。

【星野渉】

ご意見・ご感想はこちらまで　hoshino@bunkanews.co.jp

<2021・05・31>

光和コンピューター

IT導入補助金7月末締め切り

出版社・書店などに活用呼びかけ

光和コンピューターは経済産業省のIT導入補助金（令和元年度補正予算・令和2年度第三次補正予算「サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金」）のIT導入支援事業者として、7月30日の2次締め切りに向けて出版社や書店にシステム導入などへの補助金活用を呼びかけている。

IT導入補助金は、中小企業・小規模事業者等がIT ツールを導入する経費の一部を補助することで、業務効率化・売上アップをサポートする施策。

補助金対象として採択された光和コンピューターのサービスは、書店向けのレジシステム「KPOS」、非対面タイプの「KPOSセルフ」、ローコストタイプの「KPOS mini」、バックヤードシステム「Book AnswerⅣ」、「外商システム」。

出版社向けは、導入実績300社以上の「出版ERPシステム」、「販売管理（取次・直販）システム」、「電子書籍の売上管理と印税計算「電子書籍管理システム」、資材調達と原価管理の「資材原価管理システム」。

補助金額はソフトウエア費、導入関連費を対象に、通常枠（A類型）は1件あたりの補助率2分の1以内で30万円～150万円未満。通常枠（B類型）は1件あたりの補助率2分の1以内で150万円～450万円以下、かつ賃上目標が必須条件とされている。

今回は通常枠とは別に非対面化を前提とした低感染リスク型ビジネス（特別枠C・D類型）を設け、感染リスクに繋がる業務上での対人接触の機会を低減するような業務形態の非対面化に取り組む中小企業・小規模事業者等に対して、通常枠よりも補助率を引き上げて優先的に支援する。

特別枠（C類型）はC類型―1とC類型―2に区分され、C類型―1は1件あたりの補助率3分の2以内で30万円～300万円未満。C類型―2は1件あたり補助率3分の2以内で300万円～450万円以下、かつ賃上目標が必須条件。特別枠（D類型）はテレワーク対応のツールで、1件あたり補助率3分の2以内で30万円～150万円以下とされている。

申請期間は1次締切が5月14日、2次締切は7月30日。同社は申請について成功報酬型の外部コンサルタントの紹介を含めたサポート体制を整えており、1次締め切りで1社の申請を終え、2次締め切りでも6社の申請を予定している。

詳細は同社のIT導入補助金支援のサイト（https://kowa-com.jp/solution/it-subsidy-support/）まで。

問い合わせは同社、電話03（3865）1981（担当＝久保田、石橋、小堀、多田、若井）。

小学館

福田氏が常務に
岩重、竹原両氏が新取締役

小学館は5月20日に定時株主総会並びに取締役会を開き、新役員体制を決めた。福田博章取締役が常務取締役に昇任したほか、岩重正文、竹原功の両氏が取締役に、廣野眞一氏（集英社代表取締役社長）が監査役に新任した。（1面参照）

山岸博取締役副社長、片寄聰専務取締役は退任し顧問に就任。佐藤隆哉常務取締役（小学館PS代表取締役社長）、堀内丸恵監査役（集英社代表取締役会長）、白井勝也最高顧問は退任した。

役員人事について相賀専務は「グループのシナジー、連携、情報共有を重視した」と説明した。

〈新役員体制〉

代表取締役社長　相賀　昌宏
専務取締役全社・関係会社統括兼経理局、制作局　相賀　信宏
常務取締役ポスト・セブン局、出版局　秋山修一郎
同総務局　小室登志和
同デジタル事業局、マーケティング局、広告局、ライフスタイル局、女性メディア局、文化事業局　海老原高明
同第一・第二・第三児童学習局、第一・第二・第三・第四コミック局、国際メディア事業局　丸澤　滋
同社長室、編集総務局　（昇）福田　博章
取締役MERY　大西　豊
同こどもりぼん、キッズカラー、照林社　藤田　基予
同国際メディア事業局　久保　雅一
同小学館クリエイティブ　奥山　豊彦
同ライフスタイル局、女性メディア局、出版局　花塚久美子
同第一・第二・第三児童学習局　佐上　靖之
同制作局　塩谷　雅彦
同マーケティング局　井出　靖
同経理局　田中　敏隆
同第二・第三コミック局　大村　信
同第一・第四コミック局　立川　義剛
同ポスト・セブン局　森　万紀子
同デジタル事業局　林　正人
同文化事業局　清水　芳郎
同社長室、総務局　（新）岩重　正文
同広告局　（新）竹原　功
同監査役　原本　茂
同　横田　清
同　（新）廣野　眞一
◇　◇　◇

〈昇任・新任役員の略歴〉

年常務取締役就任

岩重正文（いわしげ・まさふみ）氏　1962年1月10日生まれ。84年小学館入社、広告部、97年SAPIOデスク、2001年ベビーブック・ママミイ副編集長、03年ママミイ編集長、08年ベビーブック編集長、10年女性誌編集局プロデューサー兼SAKURA編集長、13年広告局シニアマネージャー兼第三広告室室長、16年広告局ゼネラルマネージャー、21年取締役就任

竹原功（たけはら・いさお）氏　1962年7月6日生まれ。87年早稲田大学教育学部卒、89年小学館入社、広告部、97年慶應義塾大学法学部卒、同年小学館入社、業務部、97年制作企画部制作企画課主任、2002年制作企画部制作企画課副課長、09年総務局人事・人材課課長、11年総務局シニアマネージャー兼人事・人材課課長、15年総務局ゼネラルマネージャー、21年取締役就任

福田博章（ふくだ・ひろあき）氏　1960年4月4日生まれ。84年早稲田大学法学部卒、同年小学館入社、プチセブン、95年週刊ポストデスク、2004年週刊ポスト編集長、07年広告企画課長、10年広告局シニアマネージャー兼第2広告室室長、13年編集総務局ゼネラルマネージャー、16年社長室ゼネラルマネージャー、19年取締役、21年竹原功（たけはら・いさお）氏　1962年7月6日生まれ。87年早稲田大学教育学部卒、89年小学館入社、広告部、97年慶應義塾大学法学部卒、同年小学館入社、業務部、97年制作企画部制作企画課主任、2002年制作企画部制作企画課副課長、09年総務局人事・人材課課長、11年総務局シニアマネージャー兼人事・人材課課長、15年総務局ゼネラルマネージャー、21年取締役就任

新潮文芸振興会

三島由紀夫賞 山本周五郎賞 佐藤究『テスカトリポカ』
乗代雄介『旅する練習』

新潮文芸振興会は5月14日、第34回「三島由紀夫賞」と「山本周五郎賞」の選考会を開催し、その結果を発表した。

三島由紀夫賞には、乗代雄介『旅する練習』（講談社）が、山本周五郎賞には佐藤究『テスカトリポカ』（KADOKAWA）が選ばれた。

三島由紀夫賞の選考委員を代表して川上未映子氏が登壇。

『旅する練習』は、小説家の叔父とサッカー少女の姪が、数日間の旅をするという作品。メタフィクションの構造をもち、それが「しっかりと創られたこと、また高いレベルで作品の強度が達成されている」ことが、評価された。

著者の乗代氏は「成果を認めていただけたことは自信にもなるし、嬉しいこと」とコメント。「二重三重、四重までいくのかどうか、それは読む方次第ですが」と、多重構造になっている全体の構成こそがまさに作品の要であり、相当に入念な創り込みを行ったことをうかがわせる発言だった。

受賞者の乗代雄介さん（左）、佐藤究さん（右）

以前から練習として行ってきた〝風景描写〟は、当日も公園に出かけるなどして行い、〝書き写し〟も最近では、例えば柳田國男に向き合っているという。作家デビュー以前から書き続けてきたブログと合わせ、「誰かに見せる、評価される」ことを意識した文章と、意識していない文章の双方を書き続けるという行為は、次作以降も「試行錯誤と取捨選択の連続」によって、昇華されていくことを思わせるスピーチだった。

山本周五郎賞は、選考委員を代表し江國香織氏が登壇。ほぼ満場一致で『テスカトリポカ』が支持されたことを報告した。

「発想の豊かさ、リサーチの徹底ぶり、緊密な文体。麻薬や臓器売買が出てきて大勢の人が亡くなるさまを、とても緊密な文体で書いているのに、詩的なところもある。ディテールも素晴らしく、読んでいてとにかく面白かった」と絶賛した。

著者の佐藤氏は「東京ではまだ、緊急事態宣言が続いている難しい状況の中、選考会を開くということは大変だったと思う」と感謝。作品の舞台のひとつであるメキシコには、自身のケガやコロナ禍によって直接取材することは叶わなかったというが、リサーチの徹底ぶりは、危険地帯の取材で知られるジャーナリスト・丸山ゴンザレス氏など、友人たちの助力によってなされたものだと明かした。

今回、特に想起したのは、『死都ゴモラ』（河出書房新社）でナポリのマフィアを描き、実際に命を狙われることになったイタリアのジャーナリスト、ロベルト・サヴィアーノ氏だという。佐藤氏自身と年齢も近く、『ココイン ゼロゼロゼロ』（河出書房新社）では、『テスカトリポカ』の題材となっているラテンアメリカの麻薬犯罪について追及した。「私の仕事は彼の仕事には及ばないが、自分自身の問いかけがあった」と語った。

バイオレンスの要素も多分に含まれたクライムノベルである本作を、他の候補作とは「ドレスコードが違う」と言う佐藤氏だが、受賞にいたり「懐の深さに感謝するほかない」と喜んだ。

出版時評

セルフレジで接客に変化

書店でもセルフレジの導入が進んできた。業界でいち早く導入を開始した三洋堂ホールディングスは、今年中に傘下の三洋堂書店全店で導入を完了する予定で、大手取次のトーハンも新たなセルフPOSの提供を開始した。

スーパーなどではお馴染みになってきたセルフレジだが、店によってコードの読み取りから決済まですべて客が行うものや、決済だけをセルフで行うものなど運用の仕方は違う。

くまざわ書店田町店では、店員がセルフレジを利用する客をサポートし、コード読み取りからカバー掛け、袋詰めまで行い、決済だけを客が行うという方法をとっている。接客を大切にするためだそうだ。

それでも、何度か経験して慣れた客なら自分で作業できるようになるため、有人レジに比べると効率は上がるという。

しかし、店長が評価しているのは、むしろ接客のあり方が変わったことだという。

レジカウンター越しに作業している店員に声をかけるのは気が引けるが、横に立って目が合っていれば声をかけやすい。むしろセルフの方が店員と客との会話が発生しやすいのだ。

レジでの仕事が単なる処理ではなくなり、お客をサポートするという本来の接客姿勢になるのかもしれない。これは新しい発見だった。

【星野渉】

ご意見・ご感想はこちらまで　hoshino@bunkanews.co.jp

<2021・05・31>

小学館　<単位：100万円・%>

年	期	総売上高	前年比	雑誌	前年比	コミック	前年比	書籍	前年比	パッケージ	前年比	広告	前年比	デジタル	前年比	版権収入等	前年比	経常利益	前年比	当期利益	前年比
2015	78	95,602	▲6.7	29,525	▲12.2	20,433	▲10.0	11,281	▲14.1	1,863	▲40.8	11,837	▲7.2	11,731	54.4	20,661	20.7	▲894	—	▲3,052	—
2016	79	97,309	1.8	27,366	▲7.3	19,166	▲6.2	11,998	6.4	2,364	26.9	11,246	▲5.0	15,695	33.8	25,167	21.8	▲934	—	▲813	—
2017	80	94,562	▲2.8	25,047	▲8.5	19,246	0.4	10,588	▲11.8	1,961	▲17.0	9,563	▲15.0	17,699	12.8	10,459	▲58.4	313	▲133.5	▲572	▲29.6
2018	81	97,052	2.6	22,964	▲8.3	18,340	▲4.7	10,704	1.1	2,476	26.3	10,572	10.6	20,531	16.0	11,464	9.6	4,398	1,305.1	3,518	—
2019	82	97,747	0.7	20,702	▲9.9	16,668	▲9.1	10,688	▲0.1	1,652	▲33.3	10,729	1.5	24,854	21.1	12,454	8.6	5,577	26.8	3,926	11.6
2020	83	94,316	▲3.5	18,469	▲10.8	16,232	▲2.6	11,035	3.2	1,034	▲37.4	9,095	▲15.2	30,587	23.1	7,864	▲36.9	7,246	29.9	5,673	44.5

正解より別解
・HAKUHODO・
クリエイティビティで、この社会に別解を。
株式会社博報堂　https://www.hakuhodo.co.jp/